



# 私 失敗しないので。

この言葉は、テレビドラマシリーズ「ドクター X」の主人公の医師が、ストーリーの最後に言う「私 失敗しないので。」というセリフです。視聴率が高いドラマだったので見ていた人も多いと思います。私も好んで見ていました。そう言い切れる強さが見事でした。

みなさんは、このように言い切れますか。自信がありますか。このように上手くいけばいいのですが、そこはドラマです。現実と向き合うことが必要になってきます。ここで考えてみましょう。一冊の本です。

「どうせ無理」と思っている君へ ～本当の自信の増やし方～

植松電気 代表取締役 植松 努 発売元 PHP 研究所

この本の作者は町工場でロケットを作っています。自分の経験から、年間10,000人以上の子供たちに夢をあきらめないことの大切さを伝える活動をしています。その中にあるいくつかの言葉を紹介します。以下抜粋です。

僕は、「夢」とは「ドリーム：dream」ではないような気がしています。

僕は、「夢」は「ウィル（意思）：will」だと思います。

誰かと比べたり、何かの勝負に勝ったりして生まれるのは、自信ではなくて優越感です。自信は、優越感とは違います。自信は自分の内側から湧き上がってくることで、誰かと比べる必要はありません。1人でいても輝き続け、何があってもなくなるのが自信です。

この世にダメな人間は存在しません。

なぜならば、ダメかどうかを決める基準は存在しないから。

仕事とは人の役に立つことだからです。誰かを喜ばせることができたり、誰かの役に立つことができたとき、それが仕事になります。

失敗はラッキーの始まり。

「楽」と「楽しい」は違う

安定していて、失敗もない人生は、楽しいでしょうか？

たしか楽かもしれませんが、ちっとも楽しくないと僕は思います。

などほんの一部ですが、私の心に響きました。少年の頃、この本に出会っていたら？とも思いました。自分に自信を付け、挑戦することが大事なのです。「どうせ無理」とかすぐ、「ムリムリ」と言う人がいます。その人は失敗すらありません。失敗が怖いからです。私はそういう考え方が好きではありません。失敗を恐れず挑戦する。失敗してからが自分の力量だと思っています。ドラマの主人公も「私 失敗しないので。」と言っていますが、実際は病院側から妨害を受けたりして、失敗したりもしています。でも自分に自信があり、確固たるブレない信念を持っていて、そんな主人公を支える周囲の仲間にも助けられ、最後のセリフになる訳です。自分がどう人生を歩んでいくか、将来みなさんが就職してから、あるいは進学してから何か困難な場面に直面した時、壁にぶつかった時に試されます。調子がいい時は誰も考えません。困った時にその時にムリムリと言って逃げるか、乗り越えるかで、その人の本性が出ます。いつか来るかも知れないその時に向けて自分自身を高めておく、自信をつけること、ブレない信念を持つことが重要です。

この本は、本校図書室にあります。興味がある人は、ぜひ読んでみてください。

さて、卒業式、あるいは入社式・入学式までまだまだ期間があります。何か本を読んでみるのはいかがでしょうか。一冊の本が自分の人生に大きく関わる、ターニングポイントになることがあります。考え方がガラリとかわることがあります。そんな本に出会えるかもしれません。読書だけではありませんが、この期間を無駄にせず、自分を高める有効な時間にしましょう。

## 成績の結果は？

学年末考査の結果が配付されました。どうでしたか。卒業に一步近づきましたか？前回の学年通信でも述べましたが、成績が振るわなかった人、また総合点でも足りない人は、再テストや課題の提出に追われるかも知れません。教科担任の先生の指示があった場合は、しっかりと従ってください。その上で、卒業認定会議、それでもダメなら、追認考査となります。

次回の出校日 2月13日（水）

提出物 「卒業を祝う会」出欠 締め切り日です。厳守！

法律講座、服装頭髪検査、卒業式の練習があります。